

和田 一哉 (わだ かずや)

2009 年度 COE フェロー

連絡先 ed054001 at g.hit-u.ac.jp

専攻分野： 開発経済学、応用ミクロ計量経済学

研究テーマ： 途上国における貧困、家計内資源配分、ジェンダー

博士学位請求論文題目： 「途上国開発における自由の役割」

学歴

2003 年 3 月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学

2005 年 3 月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程（比較経済・地域開発専攻）修了， 経済学修士

2005 年 4 月 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程（比較経済・地域開発専攻）入学

2009 年 5 月現在 同課程在学中

職歴

2007 年 4 月～2007 年 8 月 一橋大学大学院経済学研究科 TA（中級計量経済学担当）

2007 年 9 月～2008 年 3 月 一橋大学経済研究所 21 世紀 COE プログラム「社会科学の統計分析拠点構築」学生アシスタント

2008 年 10 月～2009 年 3 月 一橋大学グローバル COE「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」 COE フェロー

研究業績

・論文・ディスカッションペーパー等

和田一哉（2007）「乳幼児死亡率でみたジェンダーバイアスと女性の教育、労働参加－インド・人口センサスデータの実証分析」、『アジア経済』第 48 巻 8 号、pp.24～44、2007 年 8 月。（査読有）

和田一哉（2009）「女性の自律性は子供の厚生を改善しうるか？－インドのマイクロデータを用いた計量分析－」、『アジア経済』第 50 巻 4 号、pp.25～45、2009 年 4 月。（査読有）

和田一哉（2009）「途上国における夫婦の交渉力と子供の就学－ケニア農村のマイクロデータによる実証分析－」、一橋大学グローバル COE「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」ディスカッションペーパーNo. 73、2009 年 5 月。（査読無）

・学会報告

和田一哉（2008）、「家計の意思決定メカニズムに関する研究－ケニア農村のマイクロデータによる実証分析」、国際開発学会第 9 回春季大会、東京工業大学、『国際開発学会第 9 回

春季大会報告論文集』、pp.105～108、2008年6月7日。

和田一哉（2007）、「女性の自律性は子供の厚生を改善しうるか？ーインド・マイクロデータの実証分析」、2007年度アジア政経学会全国大会、東京女子大学、pp.1～18、2007年10月13～14日。

和田一哉（2006）、「乳幼児死亡率で見たジェンダーバイアスと女性の教育、労働参加ーインド・センサスデータの実証分析」、2006年度アジア政経学会東日本大会、東海大学、pp.1～20、2006年5月27日。

照会先

黒崎卓（一橋大学経済研究所教授）